



ご褒美のアイスは、 コンビニやお菓子は ありませんでした。

運動会がんばったね。発表会よかったよ。成績あがったじゃない。
そんなときの楽しみが、「ちりんちりんアイス」。
“ちりんちりん”と鐘を鳴らして街を巡る屋台を長崎で育った大人たちはみな、懐かしく覚えています。
いまでも市街のあちこちで、水色のパラソルを目にします。
「ひとつください」とお願いすると、コーンの上にバラの花びらのようにアイスが盛られていく。
その様子にわくわく。子どもたちもはしゃいでいます。
親から子へ、子から孫へ。「ちりんちりんアイス」は、
とても身近でとても特別な存在なのですね。

屋台の氷菓 ちりんちりんアイス

